



渡辺 典喜



by Croury_96



**38歳新人
宇都宮市出身**

1983年宇都宮市生まれ。陽南中学校、宇都宮高等学校、早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。在ジョージア、在タジキスタンの日本国大使館や東日本大震災の被災地での勤務、松下政経塾を経て、立憲民主党栃木県第1区(衆議院)総支部長に就任。

栃木県第1区 **衆議院** 総支部長
渡辺のりよし

今、栃木1区に**新しい政治**の流れを!

自民党の総裁選挙の結果、岸田新総裁が誕生しました。衆議院の総選挙が近いことから、新しい「顔」が必要という党利党略の為の総裁選であったという印象はぬぐえません。新型コロナの新規の感染者数は減少傾向にありますが、収束とは言えない状況の中、権力闘争に明け暮れていたことには疑問が残ります。岸田新総裁の「聞く」政治には賛同しますが、誰の話聞くかが重要です。

権力者の声を「聞く」政治ではなく、しっかりと市井に生きる人々の声に耳を傾ける政治であるべきですが、それが本当に自民党政権に可能なのか疑問です。

立憲民主党栃木県第1区総支部ではこの長いコロナ禍で多くの声に耳を傾けてきました。その中で働く現場の皆様の声を受けながら、一貫して自粛と補償はセットだと主張してきました。保障が十分になされていないと、事業者の方が協力しにくく、感染が収束しません。

事業規模に応じた補償の整備、これは立憲民主党が訴え続け、部分的に政府も取り入れ、改善されてきている状況でもありますが、第6波を見据えたうえで更なる整備が必要です。

このコロナ禍で技術大国という日本のイメージも崩れてきました。鳴り物入りで始まった新型コロナ接触アプリ「COCOA」も十分に機能しておらず、感染経路の追跡等が機能してきた台湾とのデジタル力の差が如実にあらわれています。今年6月に新型コロナに感染した自宅・宿泊療養者の方を対象とした郵便投票が可能になりましたが、課題は多く、利便性を考えると将来のインターネット投票への整備に向けて歩みを進めるべきです。顔認証の技術などを用いれば、なりすまし投票などは回避できるはずですが、

コロナ禍を乗り越えて、新しい未来を切り開いていく必要があります。

その第一歩をこの栃木1区から始めましょう!

立憲民主党は提案しています!



コロナ対応で野党は反対ばかりしてきたと言う方もいますが、図1を見て頂ければわかるように、コロナ対応の経緯をみると、立憲民主党などの野党が先に提案し、政府がその後をおって来た経緯があります。また本年6月8日には「日本を守る予算案」として、国会会期を延長し総額33兆円の補正予算案を組むことを提案しております(図2)。国会延長を拒否したのは菅政権です。

今後国民の皆様へ寄り添った姿勢での提案をしっかりとってきています。

図2 感染長期化の克服を! **総額33兆円**
「日本を守る予算案」

- | | | |
|--|---|---|
| <p>①いのちを守る (9兆円)</p> <ul style="list-style-type: none"> PCR検査の拡充 入国管理の厳格化 医療機関への支援 医療従事者慰労金 ワクチン加速化 等 | <p>②暮らしを守る (6兆円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 家計急変・生活困窮者・低所得子育て世帯への給付 失業手当の拡充 学生支援 等 | <p>③事業を守る (18兆円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続化給付金の再開 協力金手当の加速化 雇調金の特例延長 地域公共交通・観光産業・文化芸術分野への支援 等 |
|--|---|---|

※6月に提案も政府は国会会期延長を拒否

オンラインイベント 「宇都宮から、平和を考える」

渡辺のりよし総支部長が中心となったオンライン企画、「宇都宮から、平和を考える 2021 年夏」。8月14日にDay1「宇都宮空襲を語り継ぐ」、8月17日にDay2「宇都宮から世界を考える」が配信されました。コロナ禍だからこそそのオンラインでの試みとなりましたが、視聴者からのコメントやメールも寄せられ、参加者からは「世

代を超えて平和について語る場は本当に貴重だった」との感想を頂くなど、成功裏に開催されました。戦争の記憶を継承するという目的もあり、アーカイブで番組は視聴可能です。見逃した方はYouTubeの「渡辺のりよし」チャンネルから是非ご視聴ください！



緊急配信 宇都宮から、平和を考える
2021年夏

Day1.
宇都宮空襲を語り継ぐ
8月14日(土) 15時-17時

当時13歳で空襲の被害にあった大野幹夫さんと、20代の市民の方々をお招きして、宇都宮空襲や戦争を次世代に語り継ぐことの意義をともに考えます。

Day2.
宇都宮から世界を考える
8月17日(火) 20時-22時

国際協力や平和構築の現場で活躍する若手の国連職員の方々をお招きして、若い世代の市民とともに、宇都宮から現代の世界をみて、平和について考えます。



QRコードを読み取るとご視聴頂けます
(料金はかかりません)

宇都宮から平和を考える [検索](#)

▲インターネットの検索サイトで検索していただいても動画視聴用のページをご覧ください。



第31回栃木県原爆死没者慰霊式

8月7日に西川田町の栃木県総合運動公園内の憩いの森にて、第31回栃木県原爆死没者慰霊式が行われ、立憲民主党からは渡辺のりよし総支部長も参加しました。慰霊式は県原爆被害者協議会が慰霊碑を建立した1991年から毎年行われており、2018年からは県原爆被害者協議会が解散したため、連合

栃木などによる県原爆死没者慰霊碑を守る会設立準備委員会が引き継いでいます。原爆の記憶を風化させないとともに、核のない世界をつくるために、唯一の被爆国として核兵器禁止条約の批准に向けた動きを進めていくことが大切だと改めて考えます。

栃木県地域企業事業継続支援金

栃木県では緊急事態措置又はまん延防止等重点措置に伴う飲食店の時短営業又は外出自粛等の影響を受け、厳しい経営状況にある事業者のうち、国の月次支援金(9月分)の支給対象とならない事業者に対し、事業継続支援金を支給します。(下の条件に自分が当てはまるか知りたい方はお気軽にご連絡ください)

- 申請受付期間／令和3年10月1日～12月24日
 支給限度額／中小法人等20万円、個人事業主10万円
 支給要件(代表的なものになります)／
- 令和3年9月の売上高が、前年又は前々年の同月比30%以上50%未満減少している
 - 次のいずれかに該当すること (1) 飲食店と継続した取引がある事業者 (2) 主に対面で個人向けに商品又はサービスの提供を行う事業者 (3) (2)の事業者の商品の販売又はサービスの提供を行っている事業者

日常活動の一コマ



6月8日。連合栃木主催の「女性のための労働相談ホットライン」街宣活動に参加。



6月18日。東武宇都宮駅前、始発から終電までの駅立ち相談会実施。

お手伝い募集

立憲民主党栃木県第1区総支部では皆様からの様々なお手伝いをしてくださる方を探しております。ご近所のポスティングならできる、期間限定なら家の壁にポスターを貼ってもいい、街頭演説会の時に顔を出してくださる、SNSでいいねを押す、どんな形のお手伝いでもありがたいです。何かお手伝いできるという方いらっしゃいましたら、事務所までご連絡ください!!

栃木1区事務所専用電話

新型コロナお困りごと相談電話

TEL 028-689-8818 TEL 080-5476-7577

事務所住所／宇都宮市江曾島町1152-1 開所時間／平日10時～17時まで

各種SNS「渡辺のりよし」で検索してください。

